

部で22日に発生した大火を受け、総社市と国際医療ボランティアAMDA(本部・岡山市北区伊福町)は24日、救援物資を届ける合同支援チームを現地に派遣した。(29面関連)

チームは市職員4人とAMDAの看護師1人。クリスマスケーキ70個、パン約200個、カイロ約500個、カップ麺約100食などを現地に届ける。

市役所で出発式があり、片岡聡一市長が「本来なら家族でクリスマスを楽しむはず。少しでも被災者の励みになれば」とあいさつ。職員らがワゴン車2台に支援物資を積み込み、出発した。

総社市によると、糸魚川市では現在、2カ所に住民が避難しているという。到着後は災害対策本部に向かい、現地のニーズに応じた活動を行う予定。

糸魚川大火

支援チーム派遣 救援物資届ける

総社市とAMDA

新潟県糸魚川市中心